

モロッコ経済日誌 2012年4月

在モロッコ日本大使館経済班

I. 国内経済

1. 指標等

①2012年第一四半期の貿易収支¹

輸入・輸出とも増加。前年同期比で輸入額は8.8%、輸出額は4.3%の増加。ただし、カバー率（輸出額／輸入額）は前年同期の49.6%から47.6%へ減少し、貿易赤字は大幅に拡大した。

	2011年第一四半期	2012年第一四半期	推移
輸入額(CAF)	85,682	93,222	8.8%
輸出額(FOB)	42,532	44,362	4.3%
貿易収支	▲ 43,150	▲ 48,860	-13.2%
カバー率(輸出額/輸入額)	49.6%	47.6%	

(単位:100万DH)

(1)輸入:

軽油・重油、原油、石油ガス、電力等のエネルギー関連品目の輸入が増加。自動車も増加。他方、小麦は減少。

主要輸入品目(単位100万DH)

品目	2011年 第一四半期	割合 (%)	2012年 第一四半期	割合 (%)	推移 (%)
軽油・重油	6,227	7.3	8,030	8.6	28.9
原油	6,507	7.6	7,754	8.3	19.2
石油ガス・その他ガス	3,753	4.4	5,187	5.6	38.2
麦	5,080	5.9	2,807	3.0	▲44.8
プラスチック材料	2,159	2.5	2,690	2.9	24.6
自家用車	2,070	2.4	2,459	2.6	18.8
化学製品	2,050	2.4	1,960	2.1	▲4.4
機械類	1,818	2.1	1,860	2.0	2.3

軽油・重油の輸入額増加は、輸入量増加と国際価格の上昇が要因。2012年1月から3月までで108万トン余りを輸入(前年は99万トンと8.8%増加)、1トン当たり価格は前年同期6261DHから7418DHへと18.5%上昇した。

原油の輸入額増加、主に国際価格の上昇が要因。2012年1月から3月までで111.4万トン余りを輸入(前年は110.9万トン)、1トン当たり価格は前年同期5866DHから6955DHへと18.6%上昇した。

¹ モロッコ為替局ホームページ, www.oc.gov.ma

注) 1DH(ディルハム) = 約 9.5 円

麦の輸入額減少は、輸入量大幅減少と国際価格の低下が要因。2012年1月から3月までで102.9万トン余りを輸入(前年同期は169.4万トンと39.2%減少。1トン当たり価格は前年同期2999DHから2726DHへと9.1%減少した。

(2)輸出:

リン鉱石の輸出額が増加。他方リン酸・肥料は減少。リン鉱石関連が全体に占める割合は23.4%と約4分の1に相当(前年同期は23.9%)。

品目	2011年第一四半期	2012年第一四半期	推移
リン鉱石・リン酸・肥料	10,167	10,415	2.4%
リン鉱石関連以外	32,365	33,946	4.9%

主要輸出品目(単位100万DH)

品目	2011年 第一四半期	割合(%)	2012年 第一四半期	割合(%)	推移(%)
肥料・リン酸など	7,529	17.7	7,521	16.3	▲3.7
衣類	4,864	11.4	4,860	11.0	▲0.1
ワイヤハーネス	4,247	10.0	4,115	9.3	▲3.1
リン鉱石	2,639	6.2	3,165	7.1	20.0
メリヤス類(靴下など)	1,741	4.1	1,849	4.2	6.3

(3)その他指標:

在外モロッコ人からの海外送金は前年同期比で増加したが、観光収入がやや減少。海外からの直接投資はやや回復。

	2011年第一四半期	2012年第一四半期	推移
観光収入	12,162	12,090	▲0.6%
在外モロッコ人からの海外送金	12,798	13,501	5.5%
海外からの直接投資	6,910	7,015	1.5%

(単位:100万DH)

②2011年対外債務および国庫債務残高の上昇²

- (1) 2011年の公的対外債務残高(保証債務含む)は1888億DHでGDP比23.1%となり前年1738億DH, 22.7%より上昇。そのうち国庫対外債務は987億DHでGDP比12.1%となり、前年比率を維持(923.5億DH, GDP比12.1%)。債務返済比率は4.9%(前年は4.7%)。
- (2) 対外債務と対内債務を合わせた国庫債務は4310億DHと対GDP比52.9%となり、前年3846億DH, 対GDP比50.3%から上昇。

² モロッコ経済財政省発表(3月30日付発表数値)

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
公的対外債務残高	115,871	115,927	122,043	133,557	152,267	173,805	188,027
GDP比	22.0%	20.1%	19.8%	19.4%	20.8%	22.7%	23.1%
債務返済比率	9.3%	7.1%	6.8%	5.5%	5.1%	4.7%	4.9%
－うち国庫対外債務残高	69,041	65,057	65,946	68,259	78,738	92,353	98,730
GDP比	13.1%	11.3%	10.7%	9.9%	10.7%	12.1%	12.1%
国庫対内債務残高	258,489	265,777	263,833	257,547	266,439	292,252	332,278
GDP比	49.0%	46.0%	42.8%	37.4%	36.2%	38.2%	40.8%
国庫債務(対外・対内債務)合計	327,529	330,834	329,779	325,806	345,177	384,605	431,008
GDP比	62.1%	57.3%	53.5%	47.3%	46.9%	50.3%	52.9%

(単位100万DH)

③国際通貨基金(IMF)発表によるモロッコ指標予測値³

国際通貨基金(IMF)が4月発表した報告書「世界経済の見通し2012年4月:World Economic Outlook April 2012」によると、モロッコの2012年の実質GDP成長率は3.7%、消費者物価上昇率は2.0%、財政赤字対GDP比は5.9%と発表(すべて予測値)。

		1994- 2003 平均	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012 予測 値	2013 予測 値	2017 予測 値
モ ロ ッ コ	実質GDP成長(%)	3.9	4.8	3.0	7.8	2.7	5.6	4.9	3.7	4.3	3.7	4.3	5.9
	物価上昇率(%)	2.5	1.5	1.0	3.3	2.0	3.9	1.0	1.0	0.9	2.0	2.5	2.6
	財政収支(%)		1.7	1.8	2.2	-0.1	-5.2	-5.4	-4.2	-7.4	-5.9	-6.0	-5.0
エ ジ プ ト	実質GDP成長(%)	4.8	4.1	4.5	6.8	7.1	7.2	4.7	5.1	1.8	1.5	3.3	6.5
	物価上昇率(%)	5.1	8.1	8.8	4.2	11.0	11.7	16.2	11.7	11.1	9.5	12.1	7.0
	財政収支(%)		4.3	3.2	1.6	1.7	0.5	-2.3	-2.0	-2.0	-2.6	-2.1	-1.3
チ ュ ニ ジ ア	実質GDP(%)	4.5	6.0	4.0	5.7	6.3	4.5	3.1	3.1	-0.8	2.2	3.5	6.7
	物価上昇率(%)	3.5	3.6	2.0	4.1	3.4	4.9	3.5	4.4	3.5	5.0	4.0	3.5
	財政収支(%)		-2.4	-0.9	-1.8	-2.4	-3.8	-2.8	-4.8	-7.4	-7.1	-7.1	-5.8

④2012年予算案成立⁴

4月11日、衆議院本会議で一旦可決(賛成166票、反対49票、無投票15)。5月11日、参議院で修正案可決(賛成57票、反対30票、無投票9)。5月15日、修正箇所について衆議院で可決(賛成110票、反対45票)。

³ 国際通貨基金(IMF)ホームページwww.imf.org, World Economic Outlook 2012 April, Les Echos(4月19日), Au fait(4月19日)

⁴ エコノマップ(4月13日)、各紙報道(5月14日)、MAP国営通信(5月15日)

2. 建設・公共事業・インフラ等

①地中海道路テトゥアンージェブハ間工事進捗状況⁵

設備・運輸省によると地中海道路の一部テトゥアン(Tetouan)ージェブハ(Jebha)間120キロメートルの道路工事は80%終了しており、今年の夏に完成予定。同工事は2007年に開始され、26億DHが充当された。地中海側の観光産業発展に期待がかかる。(当館注:この道路建設に対しては総額212億円を限度とする円借款が供与されている。)

②Oued Zem(フリブガ)とBejaâd下水処理場が完成⁶

6日、Oued Zem(フリブガ)とBejaâd 下水処理場の竣工式が、モハメッド国王6世臨席の下で行われた。総工費は3億2000万DH。住民15万人の生活排水が処理される。アフリカ開発銀行の借款で実現した。

3. 農業・漁業

①第7回国際農業見本市の開催(於:メクネス)⁷

4月25日から29日まで第7回国際農業見本市がメクネスで開催された。今年のテーマは「研究と開発」で、討論会なども企画された。出展数は850で(うち250が外国企業からの出展)。今年にはカナダのスタンドが真ん中に大きく設けられた。(2010年はドイツ、2011年はフランスが中心だった)。モロッコの食糧自給率は小麦が72%、砂糖が52%、食用油が25%、牛乳が87%、肉・野菜・果物が100%となっている。

②2011～2012年穀物収穫予測⁸

アフヌッシュ農業・海洋漁業大臣は、第5回国家農業会合において、2011～2012年の穀物収穫高は480万トンと発表。

4. 産業・エネルギー

①タンジェ生産Dacia Lodgyのモロッコ国内販売予定⁹

30日から、タンジェのルノー工場で生産されるDacia Lodgyの販売が開始される予定。価格は109,900DH(ガソリン)、141,900DH(5人乗り、軽油)、165,900DH(7人乗り、軽油)の予定。フランスでの販売はモロッコより10日ほど早く開始される。

⁵ エコノミスト(4月20日)

⁶ エコノマップ(4月9日)

⁷ ル・マタン(4月26日)、エコノマップ(4月9日)

⁸ オジヨドゥイ・ル・マロック(4月25日)

⁹ エコノミスト(4月20日)、Les Echos(4月20日)

②2012年第1四半期新車販売台数メーカー別トップ10¹⁰

2012年第1四半期の新車販売台数は26,926台と、前年同期比で16.41%の上昇。

10位争いはトヨタと日産で日産が浮上。

順位	メーカー	第1四半期 販売台数	販売台数シェア (%)	前年同期比(%)
1	ダチア	6,635	24.64	30.40
2	ルノー	4,678	17.37	16.34
3	プジョー	2,423	9.01	9.09
4	フォード	1,829	6.79	36.8
5	フォルクスワーゲン	1,583	5.88	23.38
6	現代(Hyundai)	1,363	5.06	4.36
7	シトロエン	1,248	4.64	▲0.72
8	フィアット	1,206	4.48	70.82
9	起亜	1,014	3.77	▲10.82
10	日産	735	2.73	140.2
	その他	4,212	15.63	
	合計	26,926	100	16.41

③2011年モロッコ炭化水素・鉱山公社(ONHYM)の活動実績¹¹

- ・天然ガス生産量:3778万Nm³(前年比7.08%増)
- ・投資額:6925万DH
- ・パートナーによる投資額:11億7000万DH
(主に石油探査に充当された。探査面積は447,448km²。)
- ・探査許可数:オンショアが54(うち13がONHYM), オフショアが61
- ・地質調査許可数:オンショアが5, オフショアが3.
- ・開発契約数:10

④モロッコ太陽エネルギー発電庁(MASEN)が投資子会社を設立¹²

モロッコ太陽エネルギー発電庁(MASEN)が財政部門を扱う子会社の「MASEN Capital 社」を設立した。経済財政省傘下に置かれ、資本金は100万DH。太陽エネルギー開発に向けて設立されるコンソーシアム・企業に参画していく。きめ細やかな経営管理, 発電計画のフォロー強化を狙う。

¹⁰ オジヨドワイ・ル・マロック(7月13日)

¹¹ エコノミスト(4月30日)

¹² オジヨドワイ・ル・マロック(4月30日)

⑤風力発電統合計画の事前資格審査(PQ)書類提出期限の延長¹³

風力発電統合計画2000MWのうち、今後入札が行われる850MWの風力発電所建設IPP事業についての事前資格審査に関して、書類提出期限を4月20日までとしていたが、同計画を支援する欧州ドナー国からの要請により、期限を6月21日(10時まで)に延長した。

⑥タザ風力発電事業への入札結果¹⁴

タザにおける風力発電IPP事業(150MW)の落札企業は日本-フランスコンソーシアム(三井物産とEDF EN (Energies Nouvelles, フランスEDFの子会社))に決定した。20年間発電所の維持運営を行う契約。50タービン(各3MW)機材の下請けはアルストム社であるが、建設の30%がモロッコの下請け企業に委託される。また、EDF ENは「EDF EN Maroc社」をカサブランカに設立する。

同計画はモロッコの「風力発電統合プログラム」(2020年までに2000MWの風力発電設備を整備)の一環。他にはENEL(イタリア系)・TAQA(アブダビ国営エネルギー会社)、IPR(フランスGDFスエズ子会社)・NAREVA(モロッコ王室系エネルギー会社)といったコンソーシアムが入札に参加していた。同プログラムでは、今後も850MW分の入札が予定されている。

5. その他

①貧困者のための保健制度(RAMED)の導入¹⁵

9日、貧困者のための保健制度(RAMED: Régime d'assistance médicale pour les économiquement démunis)が導入された。人口の28%に該当する貧困者850万人が対象となる。対象者は二つのカテゴリーに分かれ、世帯所得によって無料の公共保健サービスが受けられるカテゴリー(貧困者約400万人)と、年間入会金120DH/一人(世帯最高入会金600DH)を払うとその後には無料で公共保健サービスが受けられるカテゴリー(社会脆弱者約450万人)に分けられる。ただし、本格的導入は2013年1月となる予定であり、問題点などを解決し、同制度を定着させる。2012年には30億DHが充当される予定。予算のうち75%が国家予算、6%が地方自治体、19%がRAMED入会金から拠出される。

②第3回マラケシュ航空ショーの開催(於:マラケシュ)¹⁶

4日～7日、第3回マラケシュ航空ショーが開催された。開会式でベンキラン首相はアフリカにおける航空産業下請け分野におけるハブを目指し、同分野の発展を期待すると言及。開会式には最近到着した米国F16戦闘機による航空ショーが行われ話題を呼んだ。

③世界経済フォーラムの「世界情報技術報告書2012年」の発表¹⁷

¹³ ONEホームページ

¹⁴ EDF ENコミュニケ(4月16日)www.edf-energies-nouvelles.com, Les Echos(4月17日), エコノミスト(4月17日)

¹⁵ ル・マタン(4月10日, 11日)

¹⁶ ル・マタン(4月5日)

世界経済フォーラムは「世界情報技術報告書2012年:The Global Information Technology Report 2012」を発表した。昨今の経済社会活動はインターネットなどへの情報アクセスに大きく影響しているとし、各国の情報アクセス度を測ったもの。モロッコは142カ国中91位と前年の83位から8ランクダウンした。詳細は携帯電話普及74位、家庭パソコン普及67位、ソーシャルネットワーク利用44位、政府の情報技術へのビジョン52位、技術革新能力108位などとなっている。

・チュニジア:35位 → 50位

・エジプト:74位 → 79位

・モロッコ:83位→ 91位

・アルジェリア:117位→ 117位

・日本:19位 → 18位

(前年今年とも1位はスウェーデン、2位はシンガポール、3位はフィンランド)

④国営放送におけるアラビア語放送の強化¹⁸

3月31日、情報高等評議会及び視聴覚情報高等委員会(HACA)は、国営放送におけるアラビア語放送強化等の方針を決定。5月1日より、国営TV放送局2局からフランス語及びアラビア語モロッコ方言の番組が少なくなり、標準アラビア語が占める割合が増える。また、同2局には、一日5回の礼拝の呼びかけ、金曜礼拝、宗教行事の放映が義務付けられる他、賭け事のCM放送が禁じられる。

4月22日、モハメッド6世国王はベンキラン首相、ハルフィ情報大臣兼報道官大臣を王宮に呼び、新憲法に明記されている言語、文化、政策の多様化の尊重について触れた。今後の国営放送の方針については、国営放送局幹部を含む各方面からの反発を受け、政府の決定に委ねることとなった。

⑤国連西サハラ・ミッション(MINURSO)マンデート延長決議の採択¹⁹

24日、安保理は、国連西サハラ・ミッション(MINURSO)のマンデートを2013年4月30日まで延長する安保理決議を採択した。

II. 諸外国等との関係

¹⁷ 世界経済フォーラムホームページ, www.weforum.org, The Global Information Technology Report 2012

¹⁸ Les Echos(4月13日), オジヨドゥイ・ル・マロック(4月13日-15日), エコノミスト(4月25日)

¹⁹ オジヨドゥイ・ル・マロック(4月26日)

1. 外国政府との関係

①ベルギー外相とモロッコ・エネルギー大臣との会談

10日、ドゥイリ・エネルギー・鉱山・水利・環境大臣とベルギーのレインダー外務大臣が会談した。ドゥイリ大臣が再生可能エネルギー、環境保護、浄水計画につき説明、人材育成が必要とし、ベルギー投資家の誘致に言及。レインダー外務大臣はモロッコにすでに進出している企業、ベルギー大学機関、関係者を通して協力する意を表明した。

②モロッコ-カナダ間FTA締結の見込み²⁰

26日、アフヌッシュ農業・海洋漁業大臣はモロッコ-カナダ間FTA締結は2012年末もしくは2013年初頭になる見込みであると発表。第7回農業見本市のマージンで両国は農業分野での協力推進に関する覚書に署名した。

2. 外国企業との関係

①英国Longreach Oil & Gas社がモロッコで石油発見の可能性を発表²¹

3月29日、英国 Longreach Oil & Gas 社が権益権7.5%を有する Foum Draa (Tan Tan 近く)と Sidi Moussa で原油発見の可能性があると発表した。同社はオランダ企業 Sewel & Associates 社が行った推定結果をもとに両サイト合わせて原油21億バレルと1兆フィート立方メートルのガスの埋蔵量の可能性があると発表。4月9日、モロッコ炭化水素・鉱山公社は経済埋蔵量を発表するのに緻密な調査が必要であるとコメントした。

②中国Jac Motors社がモロッコでトラック組立実施を決定²²

中国の Jac Motors 社が Berrechid の Soriac 工場 (敷地面積1万㎡)でのトラック組立実施を決定した。Jac Motors 社のトラックは王室 SNI 系 Optorg グループの Tractafire Motors Corporation 社子会社 Sdama 社が販売している。現在全国7店舗で販売されているのは近距離用トラックでモデルは2種(3.5トン)、半年の販売台数は50台。販売拠点もさらに5~6箇所増やす予定で、ここ3年間で市場シェア5%を目指す。同分野ではシェア1位が三菱、2位がいすゞとなっている。組み立てされるトラックの部品のうちモロッコ産はタイヤとバッテリーのみ。価格も他メーカーより20%安価となり、また2年間(もしくは6万キロ)の保証サービスを付与し、シェア拡大を目指す。

③仏Theolia社とモロッコ電力公社(ONE)がKoudia Al Baida風力発電所を増強²³

²⁰ エコノマップ(4月27日)

²¹ エコノミスト(4月3日), Les Echos(4月10日), エコノマップ(4月10日), Longreach Oil & Gas社プレスリリース, www.longreachoilandgas.com

²² エコノミスト(4月2日), Les Echos(4月4日)

²³ エコノミスト(4月19日)

2000年に稼働開始した Koudia Al Baida 風力発電所(タンジェとテトゥアンの間に位置する)を増強する。現在のキャパシティーは50MWであるが、タービンを入れ替え、100MWに増強させる。入れ替え作業は2012年6月から開始予定。それに加え、さらに200MW増やし、合計300MWまで増強する。投資額の割合は80%が Theolia 社、20%がモロッコ電力公社(ONE)となっている。同計画は2011年5月に行われた第二回国家エネルギー会合で署名された。

④ドイツの自動車ワイヤーハーネス製造「Leoni社」が工場を拡張²⁴

19日、ドイツの自動車ワイヤーハーネス製造「Leoni社」がベラシッド(Berrechid)工場拡張工事を終了したと発表した。雇用数は600名からいずれは2000名に増加させる予定。

3. 経済協力

①日本の中東・北アフリカの諸改革(モロッコ)・移行プロセス支援²⁵

3月30日、国連開発計画(UNDP)が実施する「モロッコにおける若年層雇用創出プログラム」の開始セレモニーが行われた。同セレモニーには国連開発計画(UNDP)ヘレン・クラーク総裁、ドゥイリ・エネルギー・鉱山・水利・環境大臣、柳谷駐モロッコ日本大使が出席。環境分野における若年層雇用創出を目指すもので、プログラム実施期間は2012年3月から2013年2月まで。日本政府が100万ドルの支援を行った。

②アフリカ開発銀行のモロッコ5カ年援助計画²⁶

13日、アフリカ開発銀行は2012～2016年までのモロッコ5カ年援助計画を発表した。5年間で300億DH(うち2012年に100億DH, 2013年以降は50億DHを充当)の借款を行う。今後5年間は「ガバナンスおよび社会参画の強化(公的機関の能率化向上, 金融機関の近代化, 人材開発)」と「緑のインフラサポート(クリーンエネルギー, 水管理, 基礎インフラへの国民のアクセス)」を柱に援助が行われる。

③EUが建物用電力効率化実証実験を支援²⁷

EUは1000万ユーロを充当し、再生可能エネルギー開発・エネルギー効率化庁(ADEREE)が進める建物用電力効率化実証実験を支援する。ADEREEとEUの共同委員会が選抜した9つのプロジェクト(5つが社会住宅, 2つがオフィスビル, 1つがホテル関連, 1つが住宅一般)の実施が含まれる。同プロジェクト実施にあたっては電力節約に関する費用の50～100%までの補助金が支給される。

④アラブ経済社会開発基金の借款²⁸

²⁴ エコノミスト(4月18日)

²⁵ Les Echos(4月2日, 3日, 4日)

²⁶ エコノミスト(4月16日), ル・マダン(4月16日), Les Echos(4月13日)

²⁷ エコノマップ(4月12日)

²⁸ エコノマップ(4月19日)

17日、アラブ経済社会開発基金(FADES)がエル・ジャディーダ(El Jadida)ーサフィ(Safi)間高速道路建設計画に向けて8億6400万DHの借款に署名した。FADESがモロッコに供与した借款額は1974年から2011年までで300億DHに達している。

⑤モロッコ-イスラム開発銀行が協力再確認覚書に署名(於:マラケシュ)²⁹

17日、バラカ経済財政大臣とイスラム開発銀行グループモハメッド・アリ総裁が協力再確認覚書に署名した。若年層雇用創出, 人間開発のための国家イニシアチブ(INDH), 社会分野への財政支援, イスラム銀行システムのサポートなどが目的。

⑥EUがモロッコへ追加支援を決定³⁰

EUはモロッコへ8000万ユーロの追加支援金(2012年)を決定した。社会経済分野への支援に充当される。

4. その他

①カサブランカ・ファイナンス・シティー(CFC)にルクサンブルグが提携³¹

13日, カサブランカ・ファイナンス・シティー(CFC)計画を進めるモロッコ・ファイナンシャル・ボードとLuxembourg for Finance が提携した。

世界金融の動き, 法律・規制面などを含めた金融サービスに関する情報共有, 民間の銀行, 投資会社を含めた金融機関間との経験の共有, 人材育成, セミナーなどの開催などで協力する。

²⁹ エコノマップ(4月19日)

³⁰ エコノマップ(4月24日)

³¹ エコノミスト(4月16日), オジヨドゥイ・ル・マロック(4月16日)